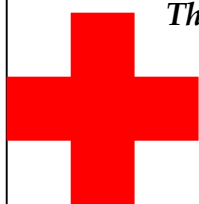




The Japanese Red Cross Society of Nursing Science

Vo.1, 2003.



# NEWS LETTER

日本赤十字看護学会ニュースレター創刊号 2003年12月

【特集】学会活動と情報交流支援

1



「人を援ける場合はやり方が非常に大切である。・・・  
人の面倒をみたり、人に物を与えるには、無限の機智を  
必要とする。方法においても人道的であり、知的であら  
ねばならない。」

J・ピクテ著「赤十字の諸原則」より

## 理事長挨拶

学会のさらなる発展をめざして 理事長 樋口 康子

1890年に開始された我が国の赤十字看護教育は、日本の看護教育のパイオニアとして、優秀なリーダーを数多く輩出し、国の内外において救護活動や福祉事業の発展に寄与して参りました。赤十字活動の理念は、各国それぞれがもつその時代の社会、文化、価値観などの相違を超えて「人道：Humanity」という人間としての人類共通な相互理解を確立して、それを世界に広めていくことにあります。すなわち、その対象者が、敵であろうと味方であろうと区別なく、自らそこに駆け寄って手を差し伸べ、その人の苦痛と戦い、その人を保護し、援助し、育ててゆくことにあります。赤十字は、このような事業を何時でも何処でも行うことができるよう、その時代が必要とする知識や技術を身につけた看護師を育成しつづける使命をもっています。高齢少子化社会の医療問題など我が国内外の社会状況が急激に変化しつつある21世紀に備え、日本赤十字看護学会も、全国各地にある赤十字病院や教育機関の人々とともに、看護実践・教育・研究に関する情報交流を密に図り、発展してゆきたいと考えます。

## 広報委員長

広報委員会の発足と活動計画 広報委員長 川嶋 みどり

平成15年度第1回理事会で広報委員会の設立が承認されたのをうけ、下記の委員が指名されました。委員長 川嶋みどり（日本赤十字看護大学）、守田美奈子（日本赤十字看護大学）、村上睦子（日本赤十字社医療センター）、川原由佳里（日本赤十字看護大学）、田中孝美（日本赤十字看護大学）（敬称略）。委員会はさまざまなメディアを通じて、会員間の「双方向」のコミュニケーションができるように、会員への学会活動の情報提供を行い、会員の声を積極的に取りあげることが目標としています。今年度は、学会ホームページを開設し、ニュースレターの発刊を行います。またこれらが学会活動に有用な発言や提言が出来る場となるように努力していきます。情報の迅速な提供をめざして、柔軟に活動を展開していく方針です。御協力よろしくお願いたします。

特集

## 学会活動と情報交流支援

日赤看護学会  
ホームページThe Japanese  
Red Cross  
Society of  
Nursing Science

日本赤十字看護学会



実践に根づいた知の発展

学会ホームページの URL  
<http://jrnsns.umin.ne.jp>

## Information

● 日本赤十字看護学会ウェブサイトを開張しました。(2003.12.10)

本ホームページに関する皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。  
[kawahara@redcross.ac.jp](mailto:kawahara@redcross.ac.jp) [t-tanaka@redcross.ac.jp](mailto:t-tanaka@redcross.ac.jp)  
までお願いします。

## 日本赤十字看護学会

[事務局]〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内 / Fax 03-5485-5777  
Copyright(C)2003 The Japanese Red Cross Society of Nursing Science. All Rights Reserved.

本学会も世界的な情報化の流れに対応するために、インターネット上に学会ホームページを開張いたしました。

ホームページは大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)の一般公開ホームページ(PLAZA)サービスを利用させていただきました。そのため、サーバーを設置する等の経済的な負担を負うことなしに、また大学のサーバーを利用する際に生じる特定の担当者の負担なしに、ホームページを開張することができました。

なおホームページは広報委員会が経常予算のもとで運営することになりました。当面は、試験運用ということで立ち上げましたが、今後より一層の内容の充実を図っていきたいと思います。

ホームページ上からは、来年6月開

催予定の第5回学術集会ホームページにアクセスできます。こちらもご利用いただければと思います。

ホームページは絶えず情報の更新をはかっているかないと単なる看板で終わってしまいます。会員相互の交流の場だけではなく、学会会員以外にも開かれた、新鮮で豊かな情報を提供する手段として、皆様のご協力のもとに育てていきたいと考えています。ご意見や企画案等ありましたら、是非お寄せ下さい。

最後に、ホームページでは「リンク」を張ることができます、このリンク先の情報もお寄せ下さい。今後も看護学や赤十字関連のホームページのネットがますます広がっていくことを期待したいと思います❖

学会ホームページに関するご意見・ご感想は  
広報委員会事務局まで  
川原由佳里(日赤看護大学)  
田中 孝美(日赤看護大学)  
〒150-0012  
東京都渋谷区広尾 4-1-3  
FAX 03-5485-5777  
E-mail  
[kawahara@redcross.ac.jp](mailto:kawahara@redcross.ac.jp)  
または  
[t-tanaka@redcross.ac.jp](mailto:t-tanaka@redcross.ac.jp)

## 日赤看護学会 ニュース レター

このたび学会ホームページの開設と同時に、日本赤十字看護学会ニュースレター *NEWS LETTER - The Japanese Red Cross Society of Nursing Science, vol.1, 2003* (創刊号)を発行することになりました。

創刊号のねらいは、新しく開設された学会ホームページを会員の皆様に知っていただくことにあります。

今後はさまざまな会員の声や情報を

紹介したり、学会からの情報を発信したり、マルチな情報交流をすすめてまいりたいと思っています。また記録性の高いものは学会誌へ回し、ニュースレターでは速報性のあるものや募集等に重点をおいていく予定です。

ニュースレターは、年1回発行の予定です。皆様からの情報をお待ちしています。ご意見・ご希望をお寄せください❖

## INFORMATION

### 総会・評議員会が開催されました

去る平成15年6月5日・6日、第4回学術集会開催中に、評議員会と総会が開催されました。

昨年度の選挙をうけて下記の新理事・幹事と評議員が承認されました(50音順)。

理事長 樋口 康子(日本赤十字看護大学)  
副理事長 小島 通代(日本赤十字九州国際看護大学)  
理事 池川 清子(神戸市看護大学)  
河口てる子(日本赤十字看護大学)  
川嶋みどり(日本赤十字看護大学/健和会臨床看護学研究所)  
黒田 裕子(北里大学)  
筒井真優美(日本赤十字看護大学)  
濱田 悦子(日本赤十字看護大学)  
守田美奈子(日本赤十字看護大学)  
監事 竹内 幸枝(日本赤十字社医療センター)  
村上 美好(済生会横浜市南部病院)

また今年度の活動計画として、学会誌の発行、学術集会の開催、看護研究ワークショップの開催の他、新たに学会ホームページの開設が承認されました。

詳しくはホームページまたは来年3月発刊予定の学会誌第4号にてお知らせします。

## INFORMATION

### 第5回学術集会の発表演題を募集しています

第5回学術集会が下記の通り開催されます。これに先立ち、皆様からの発表演題を募集しています。締め切りは1月30日(金)必着です。看護研究、調査、臨床での事例検討等、この機会には是非ご発表下さい。

会長：森 美智子  
(日本赤十字武蔵野短期大学)  
日時：平成16年6月4日(金)・5日(土)  
場所：東京国際交流館・プラザ平安  
(東京・江東区青海地区)  
メインテーマ：「国際化時代における  
赤十字・看護・教育のチャレンジ」

お問い合わせ先：  
第5回日本赤十字看護学会学術集会事務局  
〒180-8618  
東京都武蔵野市境南町1-26-33  
日本赤十字武蔵野短期大学内  
電話 0422(31)0116  
FAX0422(31)3463  
第5回学術集会ホームページのURL  
<http://www.musashino-jrc.ac.jp>

## 会員の声

日本赤十字看護学会  
第4回学術集会に参加して看護研究ワークショップに  
参加して

日本赤十字社医療センター緩和ケア病棟  
古川 祐子

姫路赤十字病院  
藤元 由起子

ニュースレターでは、学会活動に関連してさまざまな会員の方の声を伝えていきたいと考えています。

日本赤十字看護学会第4回学術集会が平成15年6月、日本赤十字広島看護大学にて開催されました。

今年で4回目になりますが、毎年欠かさず出席しています。私にとっては赤十字の理念を元に各地で活躍している同胞らに刺激を受け、自らの看護を振り返る場になっています。

医療、看護界には多くの学会、研究会がありますが、日赤看護学会は、教育、臨床、または専門分野の別なく、赤十字に関わりのあることを核に開催されており、赤十字看護教育の横断的役割を果たしている学会だと考えます。

学会としての歴史は浅く、まだ高いレベルとはいえませんが、第一線の現場で看護に携わっている臨床家の発表も多く、実践の場で活用できる具体的な内容の研究も多くありました。大学などの教育機関と臨床が接している赤十字の特徴を生かし、研究者だけの研究ではなく、臨床との共同研究も進んでいたと思います。

学術集会は、全国の赤十字施設の情報交換の場でもあり、歴史と伝統ある赤十字看護の質を根底で支えるものとして今後も期待しています。

平成15年9月、神戸市看護大学で開催された看護研究ワークショップに参加しました。

午前中の高田早苗先生の講義では、私達の簡単な計画書をもとに、具体的に分かりやすく教えていただきました。あらかじめ、分からない点や、迷っている点を提出していたので、講義の中で、質問に答えていただくことができ、方向性が明確になりました。

研究というと難しく考えていましたが、身近に感じることができました。臨床で研究されている事例を挙げて分かりやすく教えて下さり、興味を持って聞くことができました。文献検索の仕方についても分かりやすく、頂いた資料は、とても役立っています。

午後からは、グループ毎に分かれて、それぞれの計画書について、細かく指導していただきました。他病院の研究の状況や、様々な情報交換ができたので、とても面白く、楽しい時間が過ごせました。また、私達が必要としている文献も一緒に探して下さい、本当に充実した1日が過ごせました。

現在、先生に教えて頂いたことを踏まえて、計画書作りに励んでいます。



NEWS LETTER The Japanese Red Cross Society of Nursing Science, Vol.1, 2003.

日本赤十字看護学会ニュースレター創刊号 2003年12月発行

発行 日本赤十字看護学会 広報委員会

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 4-1-3 日本赤十字看護大学内

FAX03-5458-5777

学会ニュースレターは学会ホームページからもダウンロードできます。

<http://jrcsns.umin.ne.jp>

学会ニュースレターに関する皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

[kawahara@redcross.ac.jp](mailto:kawahara@redcross.ac.jp)

[t-tanaka@redcross.ac.jp](mailto:t-tanaka@redcross.ac.jp) までお願いします。

編集後記

6月総会にて委員会が承認されたのがつい昨日のようです。大学の仕事と子育てを両立しながらの忙しい毎日、ようやくホームページ開設とニュースレター発刊にこぎつけました。これもアイデアとエネルギーあふれる委員長、てきぱき仕事をしてくださる委員の先生、そして会員の皆様のご協力のおかげと感謝しています。これからも会員相互の情報交流が深まるよう努力いたします。どうぞ御協力お願いいたします(川原)